

保育士が迷いがちな、子どもと保護者への対応

～ 発達障害が疑われる保育園児 ～

保育園には必ずといってよいほど気になる子どもたちがいる。身のまわりのことはほぼ自立しておもちゃで楽しく遊び、お喋りもする。が、友だちと仲良く遊んでいるよりも、ひとりでの姿が多い。行事などの集団活動になかなかなじめない。かと思うと、ほんの些細なことで他児と衝突する。ところが、保護者側にあまり困り感がなく、心配の声も聞かれず相談もない。

このような子どもたちはいったい何なのか。性格なのか、躰に問題があるのか、それとも障害なのか。就学したら問題は自然に解消するのか、それともさらに大きくなるのか。

そんな子どもたちについて「発達」の視点から理解が進んでいる。自閉スペクトラム症などの発達に障害のある子どもたちにとって、保育園は障害の早期発見の場であり、多くの仲間たちと一緒に育っていく大切な場である。保育士には発達障害の正しい理解と対応、それに加えて子どもの養育上のポイントについて保護者への有益な助言が求められる。しかし保護者支援には心理カウンセリングの要素が含まれるため、これに踏み込もうとすれば少なからず戸惑いが生じる。また、保育士からの支援を無視したり拒否したりする保護者も少なくはない。保育現場には多くの課題が錯綜する。

この研修会を、発達障害が疑われる子どもと保護者への支援の基本について学ぶ機会としたい。

日 時 2020年6月24日(水) 18:30 ~ 21:00

会 場 I K E B I Z としま産業振興プラザ 6F (会場地図 裏面)

講 師 清水 康夫 横浜市総合リハビリテーションセンター 児童精神科医

参加費 新医協会員 2,500円 / 一般 3,500円 ★先着100名様で締切

主 催 新医協(新日本医師協会)東京支部

2020/6/24 保育士が迷いがちな、子どもと保護者への対応(講演会申込書)

氏名: _____ 職種: _____ 一般・会員

勤務先名: _____ 勤務先Tel: _____

受講票の送り先: (自宅・勤務先) 〒 _____

領収書: 要・不要 ※要の場合宛名 _____

意見・質問 _____